

白石地区 地域づくり 協議会だより

2014年11月1日号 Vol. 17

白石地区地域づくり協議会 TEL 083-941-5959
〒753-0046 山口市本町1-1-25 FAX 083-941-5966
白石地域交流センター内 <http://www.y-shiraishi.net/>



フジバカマの蜜を吸う渡蝶アサギマダラ(撮影/吉村哲明)

SL「やまぐち」号最終運行日記念おもてなしイベント開催!!

11月23日(日)、SL「やまぐち」号の今年最後の運行を記念して「おもてなし作戦」を決行いたします。山口駅のホームでSLの停車時間(1分)に全力で「おもてなし」をしましょう!白石地区の皆様のご参加をお待ちしています!!

最終運行日 **11月23日(日)**

山口駅 11:09着 ▶ 11:10発

集合時間 10:30

集合場所 山口駅トイレ付近
※白石の旗が目印 ※駐車場はありません。

主な
催し物

- ・おもてなしイベントにご参加の皆様へミニ花束プレゼント(先着150名様)
- ・山口県立大学あまみれんごうはきくみ「奄美連合萩組」および平川そまちやしちゆう「甍町屋社中」による、よさこい踊りの競演
(※内容は変更になる場合がございます)



山口駅に
全員集合!!

SLに向かって手をふろう!
11月の運行予定日

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

第28回白石フェスティバル開催!!

子どもからお年寄りまで楽しんでいただける催し物がもりだくさん!乞うご期待!!!
くわしくは、パンフレットをご覧ください。

11月16日(日)

時間 10:00~15:00

場所 白石地域交流センター、
yab山口朝日放送、
西門前商店街

白石のみなさん
全員集合!!

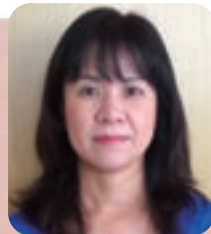


過去の白石フェスティバルの様子

新任職員
ごあいさつ

公募により10月1日付で白石地区地域づくり協議会の事務局職員として採用されました、羽山 裕子です。白石地区における地域づくり活動のお役に立てるように精一杯がんばりますので、ご支援の程よろしくお願ひ申し上げます。

はやま ゆうこ
羽山 裕子



やまぐち車座トーク21 in しらいし

10月22日（水）白石地域交流センターにおいて山口市長渡辺純忠氏をお迎えして、市長と白石地区地域づくり協議会の役員が語る会「やまぐち車座トーク21 in しらいし」が開催されました。

渡辺市長の市政報告に続き、テーマ毎に活発な意見交換がなされました。以下、その内容（摘要）です。



渡辺市長 市政報告

テーマⅠ 山口都市核づくりについて

① 人口が減少する中でのまちづくりについて

国交省などによると、我が国の人口は今後大きく減少し、2050年には約1億人となると予測されている。本市にも、大きな影響があるものと考えている。このような中であっても、日常の買い物や医療等の生活の水準を維持してほしい。特に、現在の白石のように日常生活に不可欠な機能を歩いて動ける範囲に集め、生活の利便性と豊かさを感じられるようなまちづくりが重要であると考えている。人口減少する中でのまちづくりについて、市長の大局的な考えをお尋ねします。



議事進行役：吉田副会長

議題説明者：吉村会長

【市長見解】 総務省政策「日本創成会議」、国土交通省政策「グランドデザイン2050」について概要説明があり、「山口市としては地域定住人口を増やし、市民の誕生から老後まで生きられるまちづくりを目指し、中核都市づくりに積極的に取り組むと同時に協働のまちづくりを推進している。」

② 市役所本庁舎の位置について

市役所は山口都市核の中核そのものである。平成17年10月に小郡町等4町が合併した当時は小郡地区が本市の地理的な中心地との意見もあったが、阿東町合併後は本市の中心地は現在地である。国、県等の関係機関との連携を鑑みても、現在地は最も適格な場所と考えるが、新市の事務所の位置については発足後10年を目途に協議検討することとされたところであり、市長の考えをお尋ねします。



【市長見解】 「来年度後半に審議会を設置し、総合庁舎の機能・規模も含めて審議していただく。」

【部長補足説明】 「新庁舎の建設については市民の声を聴きながら審議していただきたいと考えているが、他市の状況を見ると、早くても5年から10年後の完成となる見込みです。それまでの間、現庁舎は、とりあえず、最小限の範囲で耐震工事をしたい。」

テーマⅡ 都市核の機能強化について

① 中心市街地の住環境整備について

白石地域の中心市街地は、築年数の経過した木造住宅が密集し、生活道路は狭隘で、災害時の倒壊や火災の延焼などの防災安全上の不安を感じる。また、そのため住宅を建替えたくても建替えできない。一方、空家が増加しており、防災・防犯上の不安も感じる。市では、「住宅市街地総合整備事業」を進めようとしているが、暮らしやすく住み続けられるまちづくりを進めていただきたいと考えている。市長の基本的な考え方をお尋ねします。



議題説明者：岡崎副会長

【市長見解】 「住民のご協力を得て、中心市街地総合整備事業を進めていきたい。中心市街地活性化第2期計画（平成25年度～29年度）に着手しており、具体策を検討している。平成27年度には整備計画を策定して、遅くとも平成28年度中には工事に着手したい。できるところから老朽家屋の撤去、合わせて道路の確保、拡幅をしたい。」

【部長補足説明】 空家、空店舗、空地、老朽家屋（築35年以上が64%）が多く、都市の活力が増進しない状況にある。道路の確保（狭隘道路の拡幅）公園等の整備、老朽家屋の解体、新築の3段階で平成35年までに実現したい。まずは平成28年度に権利者の意向調査をしたいと考えている。

② 県都山口の入口にふさわしい山口駅前及び駅通りの整備について

山口駅前から駅通りにかけては、他都市と比べて賑わいが少ないように感じる。県都山口の入口にふさわしいモニュメントの整備や、駅前通りのアメニティ整備などにより、県都山口にふさわしい玄関口としていただきたい。

【市長見解】 「中心市街地活性化第2期計画の中で位置づけてバリアフリー化など県へ強力に要望している。山口市としても駅通りをバリアフリー特定地域として指定し、整備したいと考えている。観光客、外来者のために新山口駅から山口駅への移動利便性を向上させたい。」



議題説明者：原田理事

③ 山口警察署の移転跡地利用について

山口警察署が平成31年度には吉敷の旧消防学校跡地へ移転すると聞いているが、解体までないし解体後の利用について、スポーツ少年団等の地元利用やグラウンドゴルフ等の利用および高齢者や三世代が集える公園の整備など、白石地域における地縁力の強化、醸成を目的としたコミュニケーションの場として活用できるように、県へ働きかけていただきたい。

【市長見解】「県の意向が判明していないが、山口市としても有効利用を要請して行く。」



議題説明者：武谷理事

テーマⅢ 教育・子育て支援について

① 放課後児童クラブの拡充について

市では6年生までを児童クラブの対象者とするかとされましたが、今後の児童クラブ利用者の増加につながることから、狭隘な教室の解消、指導員の増員が必要になると考える。責任ある児童クラブの運営を行い子育て世代を支援することで、若い世代の定住と地域の地縁の輪を広げていきたいと考えている。市としての教室の整備と指導員等の体制整備について、お考えをお尋ねします。



議題説明者：濱西理事

【市長見解】「子どもが増加することは認識している。入級希望者が増加することが見込まれることから、市では整備対象の校区として位置づけている。今後、第3学級の新設も含めて、幼稚園、保育園、公共的な施設の活用等の考え方を基に、実情に即した体制を整備したいと考えているので、ご意見をいただきたい。運営については指導員が不足しており、指導員の研修、処遇・待遇の検討が必要と考える。ニーズの高いところから進めていきたい。」

② 小学校校舎の拡充について

白石地区では、近年マンションの建設に伴い、子育て世代の増加により、児童数が増加している。現在、白石小学校においては音楽室を教室として、図工室を音楽室として代用していることから、現在、図工室がない状況である。また、白石中学校においても直近の懸案事項であるところ、校舎の拡充が喫緊の課題と考えるが、市長のお考えをお尋ねします。



議題説明者：豊島理事



議題説明者：三浦理事

【市長見解】「敷地面積の問題があるが、教室の増築は可能と聞いている。本日、関係団体の皆様から直接ご意見をお伺いしたので教育委員会へPTA、学校関係者と協議してもらうように伝えたい。」

【部長補足説明】「教育委員会においてはすべての学年が4クラスとなっても、対応可能と考えているようである。中学校は緊急対応として、多目的スペースの使用を視野に入れているようだ。最終的には敷地の問題であることは教育委員会とも一致している。」



社会奉仕の日 ～清掃事業～

9月20日(土)、白石地区老人クラブ連合会のみなさんが山高通りを中心に清掃活動を行いました。楽しい会話が弾み、笑顔あふれるひとときでした。お疲れ様でした。



食推だよりその⑪ 減塩レシピ作ってませんか？ ～減塩推進事業～



10月17日(金)、今回初めての取り組みとして、保健師の杉山真理子さんを講師に招き「どうして減塩が必要なの？」をテーマに講演会と減塩料理教室が開催されました。参加者の血圧測定と自宅から持ってきた我が家の味噌汁の塩分チェックを行い、減塩についてのお話をいただきました。また、長寿&塩分摂取量の少なさ日本一の長野県によるレシピをもとに作った4品の減塩料理を試食しましたが、塩分が少なくても素材の旨味をいかし工夫されていて美味しいと、とても好評でした。みなさんも減塩料理を作ってみられませんか？



第6回 す ふ ま さ の す け 周布政之助② ～米屋町でアワビが入った鉢ぶち投げ事件～

長州藩の柱石、周布政之助の従者に、松永伊三郎なる人物がいました。

そこで今回は、伊三郎の回顧録の中から、政之助の知られざるエピソードをご紹介しますことにいたしましょう。

ある日のこと、政之助は伊三郎とともに、当時住んでいた矢原の吉富家に向かって歩いていました。時間は夜の10時頃でありました。

2人が、米屋町の中村利平なる人物が営んでいた呉服店の前を通り過ぎますと、近くの魚屋の小僧さんが鉢を持って歩いていました。

「ん?この鉢には一体、何が入っちゃうんじゃないか…」

政之助がのぞくと、月明かりに照らされた鉢の中には「アワビの料理」が入っていました。

「おい。それをどこへ持って行く」

「はい。中村屋に持って行きます」

「亭主の用か?」

「いえ、部屋の旦那様の用でござります」

「おお、それかあ。雪は降るし、さぶかろうけえ、わしが持って行っちゃうや」

政之助は小僧さんから鉢を預かり、中村屋へ向かいました。そして、店の戸口でこうあいさつしました。

「さぶいの～」すると、店の中から声がしました。

「いや～、さぶうござります。お入りなさへ」

そして、間もなく主人、中村利平が出てきました。

「ああ!これは、旦那様でござりまするか!」

利平はびっくりした様子です。

「部屋には誰がおる」

「お侍様が…、だんだんござります…」

「ほう。それじゃあ部屋へ行ってみよう」

こうして政之助は部屋へ入って行きました。すると奥の

方で老婆が念仏を唱えていました。

「おい、念仏を申すな。念仏じゃあ金が儲からんど。おい、部屋には誰がおる」

「さういふと政之助は鉢を抱えて部屋の中に入っていました。すると、そこには藩の御台所の役人らが酒を飲んでいました。肴が並べてある台の上に、政之助が突然、鉢を投げ込みました。

「ガシャーン!!」

一同、びっくり仰天です。

「いや～!これはようおいででござります!」(良くおいではありません。悪くおいであります)

「どうしてこう酒を飲む、この盗人め!!月給が安いちゅうて、殿様の台所のものを盗んで酒を飲んではいかん!!」

「はは一つ…」

殿様の食材をこっそり持ち込み、一杯やっていた7・8人の役人たちは大閉口。深く謝罪します。そして、その謝罪が済んで…。

「貴方にひとつ差し上げます…」

「わしは飲まん!」

政之助はそういいましたが、伊三郎はこうしてはられないと思い、「ひとつ上がってください」そういって、政之助にひとつふたつ召し上がってもらい、その場を去ったというのであります。

しかし、この時、御台所の役人たちは、ぶちたまげたでしょうね～。やれやれですの～。



周布政之助墓(周布町)



政之助の墓の香炉は松永伊三郎の寄付によるもの

明治維新150年記念講演「明治維新と山口」講師:毛利博物館 顧問 小山 良昌氏 こやま よしまさ

演題「幕末維新と山口町の動静」
～敬親公の移鎮を中心に～
①幕末萩藩の情勢
②山口を防長両国の拠点へ
③御屋形の建設と政治情勢
④山口城下町の整備

日時: 11月29日(土) 13:30～15:30
場所: 白石地域交流センター
申込: 白石地域交流センター(TEL 922-0381)、
白石地区地域づくり協議会(TEL 941-5959)

参加無料 お気軽にご参加ください

- 【明治維新150周年記念事業
- 実行委員会メンバー】
- 委員長: 木村修司
- 豊島信一、塩見興一郎、大田寛
- 信、山本康夫、篠田勝之、岡崎吉
- 治、坂本嘉一